

# まんだら通信

平成19年(2007)07月 佛誕2573年

295-0103 千葉県南房総市白浜町滝口1084  
真言宗智山派 天神山 紫雲寺 高橋 龍涉  
郵便振替 00120-2-43163 紫雲寺  
TEL0470-38-4740/FAX 0470-30-5040  
URL <http://www.awa.or.jp/home/ryusho/>  
E-mail [ryusho@awa.or.jp](mailto:ryusho@awa.or.jp)

## 決まり事を守るということ

泥棒容疑で逮捕した少年を、警官が居眠りして逃がしてしまつたとか、天下りの役人さんは、ロクな仕事もしないのに天下り先で退職金だけはいっぱいもらっているとか、訳の分からないクズ肉を入れて、名前と値段だけは高層な商品売っていたとか、高速道路のサービスエリアに、自分の家のごみを捨てに来る人が多くて、道路公団では人手がかかって困っている・・・こんな話ばかり聞かされていると、日本はもうダメだなど、つい考えてしまいます。

昭和の初めころまで、日本に来た外国人は「思いやりのある心の温かい人が住んでいて、日本は世界一安全で一番住みやすい国。」と、皆が言っていたそうです。

高度経済成長で、みんなの金回りが



良くなった頃からダメになつたと、新聞やテレビがいうとヤツパリそうなんだなと思います。

ところで、金美齡(きんびれい)という知性豊かな美人さんがいます。

一九三四年(昭和九年)台湾生まれです。それから私と同じ年で、早稲田大学を卒業して長く日本に住んでおられるとのこと。

したり顔でものを言う、進歩的知識人などといわれる人たちを、こつぴどく辛口で批判する、歯切れの良いおぼあさんだそうです。

民放のテレビを見ている人の方がご存じかも知れません。

「日本ほど格差のない国はありません!」(ワック)など、「日本人よ、しっかりしなさい」と励まし続けている人です。

「日本は世界で一番夢も希望もある国です!」(PHP研究所)という新書版は、特に若い人向けの書物ですが、読んでいて、あ、そうだった、そうだったんだと思わず気付かされます。

中に『ルールを守る国民性が促した経済発展』という項目があります。

「ルール(法律)を守るといことは当たり前前、と思つている人が多いかも知れませんが、世界から見るとこういう国は多くはないのです。日本で民主主義が発達し、経済発展が成功したのは、日本が法治国家であり、法律をきちんと守るといふ心がけが、広く国民の間にしみ渡つていふことが、大きな要因となつていふのは間違いありません。

日本は、世界で一番安全な国と言われています。

それは別の面から見ると、コストがかからないということでもあります。

極端な話をすれば、法律を破る人がいなければ警察は要りません。実際は法律を破る人がいないということはありません。

りませんから警察は必要ですが、たとえば戒厳令が敷かれて警察や軍隊を反体制勢力を抑え込むために使つた、かつての台湾のような国に較べれば、日本が社会秩序の維持にかかるコストは、非常に小さいといえます。つまり、国力の多くを経済の発展に注ぎ込めたのです。

この、ルールを守る、という日本人の国民性は、日本が世界に誇れる財産の一つなのです。」と。

この国民性ということ、日本と正対なのが中国だそうです。

中国からの留学生は、日本のスーパーなどの品物は無防備過ぎてとられるのは当たり前、電車のキセル乗車は当然というそうです。ここでは、多くを書きませんが本書をお読みください。(九五〇円です。)

私も、今のままの中国で来年に迫つた北京オリンピックは大丈夫だろうか、とひそかに心配している一人なのです。

他の国々も大なり小なり同じですね。ただ、乏しい経験からですが、スリランカだけは例外です。商品もタクシードライバーの観光客だからと、値段を釣り上げることはありません。向うの人と同じではないようですが、ま、こんなものでしょうと納得できる程度です。

は、前々からお知らせしていた、『あそか基金』チャリティライブは、お陰様で7月7日盛況のうちに終わりました。のどかな音色のアフリカの木琴や弦楽器。それに電子処理した音楽を載せた珍しい演奏や、深津純子さんのフルートが加わった演奏に、みんな大満足でした。

## ご援助、有り難うございます

白浜 杖珠院様、銚子 宮本様、三重 光友様、白浜 井上先生、佐倉市 灰谷様、白浜 砂田様、横須賀 鈴木様、調布 野田様、館山 松苗様、白浜 林蓉子様、千葉 古谷様、船橋 田村様、鴨川 笹元様、八王子 亀田様、市川 浅沼様、小千谷 成就院様、白浜 匿名希望の読者の方。

その他多くの皆様から、有形無形のお力添えを戴きました。少しでも読みごたえのある紙面作りに励むつもりです。有り難うございました。

## 余滴

◆前々からお知らせしていた、『あそか基金』チャリティライブは、お陰様で7月7日盛況のうちに終わりました。のどかな音色のアフリカの木琴や弦楽器。それに電子処理した音楽を載せた珍しい演奏や、深津純子さんのフルートが加わった演奏に、みんな大満足でした。

お客様の中には、偶然通りかかった銚子からのバイク旅行の青年や、インターネット予約第1号の千葉からのお客様などで賑わいました。

また、丸山の福祉作業所『ふれあいハウス』さんの出店では、コーヒーのサービスもしていただきました。

皆さん、有り難うございました。

◆その後の話。その1 山門の鬼がわらに住み着いた二ホンミツバチは、これか

らの季節、暑過ぎて逃げていってしまうでしょうという話を聞いて、ミツバチに明るい人の応援を求めましたら、昨日朝新しい巣箱を2個も持ってきて、近くに置いてくれました。

うまく行くと、引越してくれるかも知れないと、通るたびに眺めています。

その2 巣作りをしていたツバメ夫婦。卵を6個産んで暖め始めたところ、パカネコの誰かが障子に飛びついて驚かせたらしく、「育児放棄」をしてしまいました。

今年こそと期待していたのですが、子ツバメの顔を見るのは、また来年までお預けです。

◆先月は、何回かホテルを見に行きました。ホテルは環境指標生物といって、自

然環境がどの程度健康かを計る物差しだそう。館山市畑では、農道建設で、同じく岡田では田んぼの休耕で全滅でした。◆今月の野草は、【あやめ科 ヒメトウショウ属】ヒメヒオウギズイセン(モントブレチア)です。

120年ほど前に渡来。原色牧野植物大図鑑には「庭園に植えられる。」と書いてありますが、この辺りではそんな待遇ではないですね。

うっとうしい梅雨空のもと、どちらかとうごみ捨て場のようなところに、一際明るい色で咲いていますね。野山に鮮やかな色が少ない季節だけに、ホッとさせられます。

07.07.09 龍涉

